

東台遺跡 第55地点

遺跡名	東台遺跡
よみがな	ひがしだいいせき
調査地点	第55地点
主な時代	平安時代（約1150年前）
調査地	富士見市大字水子4561番2、4561番4、4561番5、4562番1、4563番
調査面積	約200㎡
調査期間	令和元年10月9日～10月31日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 平安時代の竪穴住居跡6軒 掘立柱建物跡1軒、溝跡1条 など</p> <p>【出土した主な遺物】 土師器片、須恵器(坏・壺)、石製品、鉄製品など</p> <p>【概要】 東台遺跡は、現在の水谷小学校の南東約200mにあり、柳瀬川の沖積地に面した武蔵野台地のへりに位置しています。当遺跡の過去の調査では、古代の住居跡が合計80軒以上確認されており、奈良～平安時代には市内でも有数の集落だったと考えられます。</p> <p>今回の調査では平安時代の竪穴住居跡が6件確認され、土師器や須恵器、石製品が出土しました。また、竪穴住居跡を掘り込む溝跡や、掘立柱建物跡の一部と思われる柱穴も見つかりました。</p>



平安時代の竪穴住居跡完掘状況



左写真の住居に伴うカマドと、その内部で出土した遺物
(須恵器坏・壺)



重なりあう平安時代の竪穴住居跡2軒と
溝跡（写真左端）



掘立柱建物跡の柱穴と思われる土坑